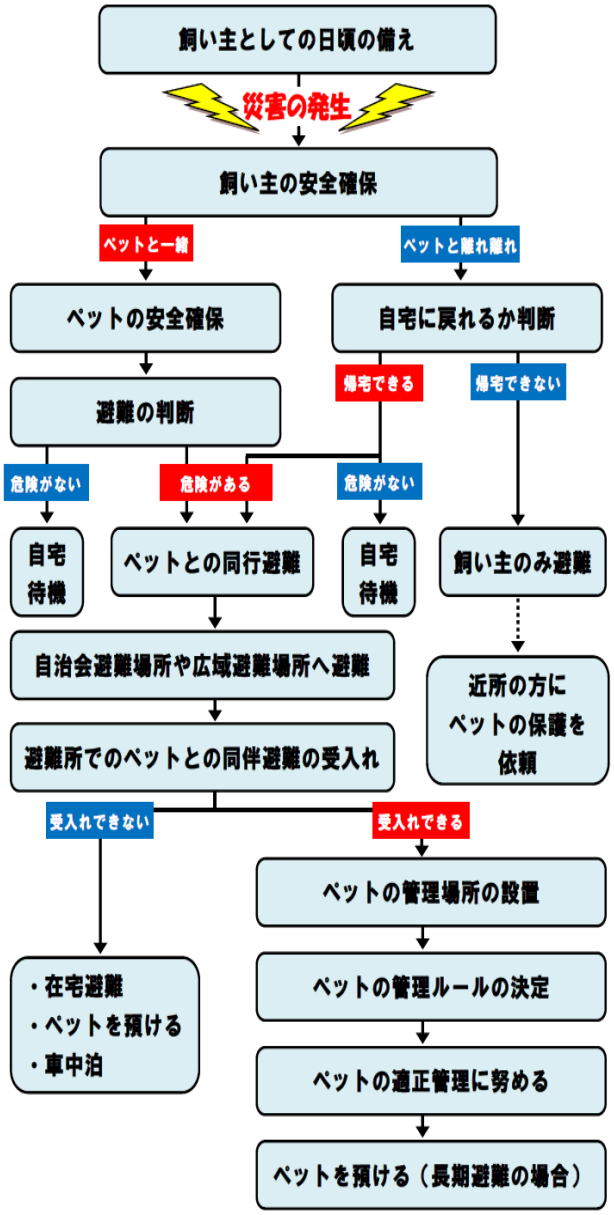
5. 災害発生時のフローチャート



6. 避難所について

避難所におけるペットの管理に関することは、各避難所におけるルールを守った上で、全て飼い主の責任で行うことになります。

マナーとルールを守り、ペットの適正管理を行ってください。

○初めに開設される避難所（同行避難可能）
・地震災害時　総合体育館、市内小中学校
・風水害時　　市内公民館

問い合わせ先

秦野市桜町一丁目3番2号
秦野市　環境産業部　生活環境課
電話:0463－86－6037(直通)

市ホームページには、より詳細な情報として「人とペットの防災ハンドブック」を掲載しています。

防災対策のほかにもペットを飼われている方への案内やお知らせ等も掲載していますので、ぜひご覧ください。

↑秦野市ホームページはこちらから

人とペットの防災リーフレット

秦野市

令和４年８月

災害時に、スムーズな避難生活を行うため、飼い主としての心構えや平常時からの準備が大切です。

1. 飼い主の明示

ペットと離れ離れになった場合に備え、迷子札、飼い犬には、鑑札と狂犬病予防注射済票などの飼い主が特定できるものを装着しましょう。

また、消失の心配がないマイクロチップの装着も有効です。

マイクロチップ

鑑札

2. しつけと健康管理

避難生活では、動物が苦手な方やアレルギーを持つ方もいるため、周りに迷惑が掛からないよう、十分なしつけを行うことが大切です。速やかな避難のため、ケージやキャリーバックに慣れさせておきましょう。

また、避難生活は、ペットに大きなストレスがかかります。普段から健康を維持しておきましょう。

◆しつけの例

○ケージを嫌がらない
○おいで、待て、お座りなどができる
○決められた場所でトイレができる

◆健康管理の例

○注射・ワクチンの接種が済んでいる
○シャンプー等により清潔な状態
○不妊去勢手術を行っている

3. 防災用品の備蓄

ペットの防災用品は、飼い主が用意する必要があります。救援物資の到着には時間が掛かることが予想されるため、少なくとも５日分（できれば７日分以上）準備しましょう。次のものは、優先順位が高いものになります。玄関などの持ち出しやすい場所に置きましょう。

○ケージやキャリーバッグ
※風水害時は必須
○ペットフード・飲料水
○薬
○首輪・リード
○飼い主の連絡先などが書かれたもの
○トイレ用品　等

4. 災害が発生したら

飼い主の安全が確保できたら、続いてペットの安全を確保しましょう。

自宅が安全で、危険が迫っていない場合は、自宅に留まることも選択肢です。「防災マップ」や「ハザードマップ」を確認し、被害想定などを把握しておきましょう。

避難が必要な場合は、避難場所までペットと一緒に避難（同行避難）しましょう。

避難する際、首輪とリードを装着し、ケージやキャリーバッグなどに入れて避難してください。中・大型犬など、リードを装着して歩いて避難する際は、十分な注意が必要です。

※避難できる動物は、主に犬や猫などの小動物になります。人に危害を加えるおそれのある特定動物については、避難場所で受入れることができません。

同行避難とは

避難場所などの安全な場所まで飼い主がペットと一緒に避難することです。

※避難場所などでペットと一緒に同居することを意味するものではありません。